# 令和６年度越生町教育委員会
# 事務局点検評価報告書

## ［対象：令和５年度の教育行政施策］

～越生町教育振興基本計画の達成に向けて～

題名『 にぎやかな夏祭り 』
越生町立越生小学校５年
長谷 優花 さんの作品

題名『 定められた通路 』
越生町立越生中学校２年
仲野 汰一 さんの作品

【 第５８回「郷土を描く児童生徒美術展」において知事賞を受賞した２作品 】

越生町教育委員会

令和６年８月

# もくじ

頁


１　はじめに　２

２　点検評価の対象及び方法　２

３　『越生町教育振興基本計画』の基本目標と重点施策　３

４　点検評価調書　４
Ⅰ　学校教育の充実　４
（１）確かな学力と自立する力の育成　４
（２）豊かな情操と健やかな心身の育成　７
（３）学習環境の整備・充実　１１
（４）教職員の指導力向上　１３
Ⅱ　家庭・地域の教育力の向上　１５
（１）学校運営協議会制度の導入　１５
（２）越生町「３つのあ」の推進　１６
（３）学校応援団活動の推進　１８
（４）家庭教育支援体制の充実　２０
（５）安全・安心な町づくり　２２
Ⅲ　生涯学習の推進　２４
（１）一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進　２４
（２）越生が誇る歴史文化の継承と活用　２６
（３）生涯学習施設の環境整備　２８

５　教育委員会会議等の活動状況

６　（参考資料）令和５年度「家庭生活・家庭学習・３つのあ」についてのアンケート集計

## １　はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条第１項に「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」と規定されていることから作成をいたしました。

越生町では、教育基本法第１７条第２項に基づき『教育振興基本計画』を策定し、平成３１年度から令和５年度までの５年間における教育の方向性を示しました。この自己点検評価の項目は、『越生町教育振興基本計画』の達成に向けて実施している各種事業の成果と課題について、令和５年度の越生町教育委員会の事業等にかかる点検及び評価をまとめたものです。

## ２　点検評価の対象及び方法

『越生町教育振興基本計画』（以下「基本計画」）の具現化に向けて、毎年度、重点施策を策定し、その取組状況を点検評価しました。

点検評価は、以下のように点検評価調書としてまとめました。

| | | |
|---|---|---|
| 基本目標 | （基本計画の３つの基本目標） | 総合評価 |
| 重点施策 | （基本目標を達成するための重点施策） | Ｓ・Ａ・Ｂ・Ｃ |
| 重点施策の主な視点 | （基本計画に記載されている取組の視点） | |
| 重点施策の内容 | （年度において特に重点的に推進する具体的取組） | |
| 指標と実績 | （成果と課題の元となる指標と実績） | |
| 成果の概要 | （成果の概要の文章記述） | |
| 課題 | （課題についての文章記述） | |
| 意見・提言 | （学識経験者からの意見・提言） | |

点検評価調書のうち、総合評価は「Ｓ・Ａ・Ｂ・Ｃ」とし、区分の目安として

Ｓ：期待以上の成果を上げた

Ａ：期待通りの成果を上げた

Ｂ：期待通りの成果を上げていない

Ｃ：実施していない

としました。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条第２項の規定に基づく、有識者の活用については、以下の学識経験者２名から御意見などをいただきました。

| | |
|---|---|
| 伊藤　　明　氏 | 元公立小学校長、元川越市教育長 |
| 酒本　希朱　氏 | 元公立小学校長 |

## ３　『越生町教育振興基本計画』の基本目標と重点施策

【学校教育の充実】
- ○　確かな学力と自立する力の育成
- ○　豊かな情操と健やかな心身の育成
- ○　学習環境の整備・充実
- ○　教職員の指導力向上

【家庭・地域の教育力の向上】
- ○　学校運営協議会制度の導入
- ○　越生町「３つの㋐」の推進
- ○　学校応援団活動の推進
- ○　家庭教育支援体制の充実
- ○　安全・安心な町づくり

【生涯学習の推進】
- ○　一芸・一スポーツ・一ボランティアの推進
- ○　越生が誇る歴史文化の継承と活用
- ○　生涯学習施設の環境整備

## ４　点検評価調書

Ⅰ　学校教育の充実

（１）確かな学力と自立する力の育成

| 基本目標 | Ⅰ　学校教育の充実 | 総合評価 |
|---|---|---|
| 重点施策 | （１）確かな学力と自立する力の育成 | A |
| 重点施策の主な視点 | ○　個に応じたきめ細やかな指導<br>○　幼保・小・中のなめらかな接続<br>○　家庭生活・家庭学習の充実 | |

**重点施策の内容**

・　町費学習支援員の配置や町独自の少人数学級編制を生かし、指導方法を工夫したきめ細やかな指導を展開する。
・　２学期制と土曜授業日の特色を最大限に生かして授業時間数を十分に確保し、学習指導要領に示された主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を推進する。
・　外国語活動や外国語（英語）の学習において、各校常駐のＡＬＴを活用したり、英語検定の受検など具体的な目標をもたせたりすることで、意欲的に取り組めるように指導する。
・　ＩＣＴを活用した多様な授業を展開し、学習内容の定着と学習意欲の向上を図る。また、休校等による学習の著しい遅れが生じないように、オンラインでの授業の準備を整える。
・　受け手の状況などを踏まえた発信・伝達など情報活用の実践力を育成し、人前で堂々とわかりやすく自分の意見を発表できるように様々な機会を設け、指導の充実を図る。
・　越生小学校と梅園小学校との合同行事や合同授業の取組を行い、お互いのよさを生かした小小連携を一層推進し、義務教育９年間の一貫した教育を推進する。
・　「家庭生活・家庭学習のすすめ」、「より良い学習の進め方」リーフレットや夏休み前の学習成績表などの活用をすすめ、家庭学習の習慣化を強化する。

**指標と実績**

| 指標 | 実績 |
|---|---|
| 町費の学習支援員等の配置数 | 小学校：８名　※　前年度７名<br>中学校：４名　※　前年度４名 |
| 英検の英検受験者等 | 受験者数：２６５名　　※　前年度２４７名<br>（小：３３名、中：２３２名）<br>中３の３級以上の取得率：43.7 %<br>※ 令和３年度：54.5%、令和４年度：58.9% |
| 小小連携に関わる授業の実施状況 | １年…生活科での合同授業<br>２年…生活科・外国語活動での合同授業<br>３年…総合的な学習の時間「梅もぎ体験」<br>４年…学級活動・外国語活動での合同授業<br>５年…宿泊学習、社会科見学での活動<br>６年…修学旅行、社会科見学での活動<br>子ども議会、スポーツ交流会<br>特別支援学級…学級活動 |

| | | |
|---|---|---|
| | リーフレットで示す家庭学習時間の目安について、「いつもしている」＋「だいたいしている」の割合<br>※　家庭学習時間の目安<br>小 1…15 分、小 2…20 分<br>小 3…30 分、小 4…40 分<br>小 5…50 分、小 6…60 分<br>中 1…60 分、中 2…90 分<br>中 3…120 分 | 小 1…95.9%、小 2…90.4%<br>小 3…87.2%、小 4…82.5%<br>小 5…74.7%、小 6…61.2%<br>中 1…67.2%、中 2…56.1%<br>中 3…70.9%、**全体 76.2%**<br><br>※　前年度<br>小 1…96.3%、小 2…98.0%<br>小 3…87.8%、小 4…80.6%<br>小 5…64.9%、小 6…78.0%<br>中 1…72.2%、中 2…59.1%<br>中 3…73.7%、**全体 79.0%** |
| **成果の概要** | ○　町費の学習支援員等を複数配置することで、きめ細やかな指導を展開することができた。また、２学期制や土曜日授業を活用し、授業時数を適切に確保し、ゆとりをもった教育課程を編成することができた。<br>○　各校に常駐のＡＬＴを配置することにより、外国語への意識が高まり、英検の受験者数も増加した。<br>○　ＩＣＴを活用した多様な授業展開に関しては、タブレットパソコンを全ての教科で活用しながら、子供たちが主体的に学習に取り組む姿が多くみられた。また、感染症流行時には、子供たちの学びを止めないように、オンラインでの授業を実施した。<br>○　小学校間の連携では、年度当初に計画を作成し、対面での活動だけではなく、オンラインを活用するなど、工夫しながら活発に交流を図ることができた。<br>○　家庭生活・家庭学習の充実を図るために、各種リーフレットを積極的に活用し、児童生徒への説明に加え、保護者会や学級懇談会でも説明を行うことで、児童生徒、保護者、学校の共通理解を図ることができた。 | |
| **課題** | 個に応じたきめ細やかな授業を展開するために、児童・生徒一人ひとりの学習状況を把握し、効果的に町費学習支援員等を活用したり、ＩＣＴを有効に活用したりすることにより、個に寄り添った学びの支援を行っていくことが必要である。<br>小小連携や小中一貫教育の推進については、既存の対面での取り組みだけに留まらず、ＩＣＴを活用するなどして、より一層の推進を図っていく。 | |
| **意見・提言** | Ａ氏<br>・　２学期制や土曜授業日の特色を生かし、授業時間数を適切に確保し、ゆとりある教育課程を編成している。また、個に応じたきめ細かな指導を充実するために、町独自の学級編成の実施や町費学習支援員等の配置、ＡＬＴの配置、タブレットＰＣの活用などが充実しており、児童生徒の学習意欲の向上と学習内容の定着が期待で | |

| | |
|---|---|
| | きる。<br>・　各校配置のＡＬＴの活用と英語検定受験助成により、受験者数が増加していることはよいことである。中３の３級合格率が上がるとよい。<br>・　小小連携や小中一貫教育の取組は成果を上げているので、今後も継続し、より一層充実していただきたい。<br>・　家庭学習の習慣化を図る取組がなされており、今後も継続していただきたい。<br><br>Ｂ氏<br>・　越生町独自の少人数学級編成を生かした教育課程の編成の実施や、外国語教育への取組は個に応じたきめ細やかな指導がいきわたっており、学習意欲の向上へと繋がっている。さらなる学力向上・英語力向上に期待できる。<br>・　小小連携については、越生町の強みを生かした義務教育９年間を一貫したすばらしい教育であり、小・中のなめらかな接続に繋がっている。<br>・　オンライン授業について、「学びを止めない」という観点から、風邪で学校を休んでいる児童生徒や長欠の児童生徒のため、また家庭への教育力向上のためにも、感染症流行時のみではなく、オンライン授業の継続をお願いしたい。<br>・　ＩＣＴの活用については、生徒会と児童会の連携・種々企業との連携は、すぐにできることである。越生町の未来へと繋がる機会を積極的につくることを期待する。 |

（２）豊かな情操と健やかな心身の育成

| 基本目標 | Ⅰ　学校教育の充実 | 総合評価 |
|---|---|---|
| 重点施策 | （２）豊かな情操と健やかな心身の育成 | A |
| 重点施策の主な視点 | ○　道徳教育、人権教育の充実<br>○　食育教育の充実<br>○　心身ともに健康でたくましい児童・生徒の育成 | |

**重点施策の内容**

・　特別の教科である道徳を中心とした道徳教育を展開し、全ての教育活動を通じて道徳的実践を促す指導を充実する。
・　いじめを許さない意識の醸成と人権を尊重した教育を推進する。
・　義務教育９年間を見通した継続的な生徒指導を実践し、不登校やいじめ等の問題行動の解消に向け、適応指導教室の活用や、スクールカウンセラー、さわやか相談員及びスクールソーシャルワーカー等、関係諸機関との連携を強化し取り組む。
・　発達の段階に応じた情報モラルに関して、自ら考え、自他を守る力を育む教育を推進する。
・　越生町ならではの地域の教育力を活用した特色ある体験活動に取り組み、郷土を愛する心や創造力を醸成する。
・　自校給食の特性を生かし、地産地消を進め、地域への関心を高める。
・　学校給食を核に家庭や地域と連携して望ましい食習慣の確立を図り、食育を推進する。
・　体力の向上を目指し、たくましさや粘り強さを養う学校体育活動を推進する。
・　生活習慣の改善や課題に向けた取組の強化を図り、健康の保持増進を目指した学校体育活動を推進する。

**指標と実績**

| 指標 | 実績 |
|---|---|
| いじめの解消率 | 小学校…９１．６％<br>中学校…１００％ |
| 不登校数等 | 小学校…　２名　0.5%　※　前年度　１名<br>中学校…１１名　5.2%　※　前年度１４名 |

越生町子ども未来大学の実施状況

| | 日付 | 講座名 | 参加人数 |
|---|---|---|---|
| 1 | 7/27 | Let's Enjoy English! | 23 人 |
| 2 | 7/29 | 越生まつり密着レポート！プロの作家から作文を習おう | 10 人 |
| 3 | 7/31 | 「心・技・体」武道(BUDO)すごいぞ!! | 8 人 |
| 4 | 8/1 | クルマってすごいね!!クルマはなぜ動くの？ | 24 人 |
| 5 | 8/4 | 表現で遊ぶ演劇教室プロの女優から演技を習おう | 4 人 |
| 6 | 8/5 | 巨大風船を作って遊ぼう | 33 人 |
| 7 | 8/6 | 大空にロケットを飛ばそう！ | 30 人 |
| 8 | 8/8 | 今、宇宙がおもしろい！ | 12 人 |
| 9 | 8/10 | 越生町のチョウとチョウが水にぬれない「ふしぎ」の実験 | 19 人 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 10 | 8/19 | みんなで打とう！和太鼓ドンドン♪ | 20 人 |
| | | 11 | 8/22 | 越生町のホタルとホタルが光る「ふしぎ」の実験 | 21 人 |
| | | 12 | 8/26 | 最新のAIツールについて考えてみよう！ | ４人 |
| | サマースクール<br>実施状況 | ① 8/18…107 人、② 8/21…119 人、③ 8/22…103 人<br>④ 8/23…97 人、 ⑤ 8/24…111 人 ■ 合計…537 人 | | | |
| | 情報モラル教室実施状況 | ・越生小学校　　計１回<br>10/27 KDDI『e-ネット安心講座』<br>・梅園小学校　　計１回<br>2/2 埼玉県ネットアドバイザー『子供安全見守り講座』<br>・越生中学校　　計２回<br>7/15 KDDI『スマホ・ケータイ安全教室』<br>12/21 NTT・川越人権擁護委員会 共催<br>『スマホ・ケータイ安全教室』 | | | |
| | 給食の地場産物の活用状況調査<br>（１１月実施） | 23.2%<br>※　R4…28.9%　R3…26.0%　R2…29.2% | | | |
| | 新体力テストの結果 | 新体力テスト総合得点<br>小学校：50.4（県平均 47.3）<br>中学校：48.0（県平均 46.4）<br>※　前年度<br>小学校：50.7（県平均 48.2）<br>中学校：47.6（県平均 46.6） | | | |
| | 朝ご飯を毎日食べている割合 | 小 1…100%、 小 2…100%<br>小 3…97.9%、小 4…90.5%<br>小 5…91.5%、小 6…95.6%<br>中 1…93.4%、中 2…93.0%<br>中 3…90.4%、**全体 94.7%**<br><br>※　前年度<br>小 1…96.3%、小 2…100%<br>小 3…94.1%、小 4…93.4%<br>小 5…93.3%、小 6…88.2%<br>中 1…93.4%、中 2…90.1%<br>中 3…96.4%、**全体 93.9%** | | | |

| | | |
|---|---|---|
| | リーフレットで示す睡眠時間の目安以上の睡眠について、「いつもとっている」＋「だいたいとっている」の割合<br>※　睡眠時間の目安<br>小 1～小 4…9 時間<br>小 5、小 6…8 時間<br>中 1～中 3…7 時間 30 分 | 小 1…77.5%、小 2…88.5%<br>小 3…87.2%、小 4…81.0%<br>小 5…90.1%、小 6…85.1%<br>中 1…82.0%、中 2…68.4%<br>中 3…60.3%、**全体 80.0%**<br><br>※　前年度<br>小 1…78.2%、小 2…91.8%<br>小 3…83.6%、小 4…84.2%<br>小 5…90.5%、小 6…73.6%<br>中 1…78.7%、中 2…62.3%<br>中 3…49.2%、**全体 76.9%** |
| **成果の概要** | ○　道徳教育、人権教育を充実させるために、各学校とも、道徳授業を核として、学校行事や部活動、体験活動等、学校教育活動全体を通して取り組むことができた。<br>○　いじめや不登校等の問題行動の対応としては、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さわやか相談員、適応指導教室指導員等を活用し、教育相談体制の充実を図ることができた。<br>○　情報モラルに関して、各校で外部講師を招聘し、インターネットの利便性や危険性についての知識を深めることができた。<br>○　越生町ならではの地域の教育力を活用した特色ある体験活動として、４年ぶりに「越生子ども未来大学」を実施することができ、様々な体験を通して、郷土を愛する心や創造力を醸成することができた。<br>○　食育教育を充実させるために､学校給食を中心に食育教育を進めることができた。<br>○　心身ともに健康でたくましい児童・生徒の育成のために、体育活動を中心に、生活習慣の改善や課題に向けた取組の強化を図った。新体力テストは、小中学校共に県平均を上回ることができた。 | |
| **課題** | 不登校児童生徒の状況は、全国と同様に越生町においても微増傾向にあり、課題となっている。関係機関との連携を密に図り、早期発見・早期対応に努めていく。<br>いじめの認知件数は、年々増加しているが、些細な事案もいじめとして捉え、いじめの解消まで丁寧に指導を行っている。いじめの内容は、ＳＮＳを媒介とした事案が増えてきており、児童・生徒と保護者が一緒に考えられるような、情報モラル教室の一層の充実が必要である。 | |
| **意見・提言** | Ａ氏<br>・　道徳教育や人権教育、様々な体験活動、積極的な生徒指導を通して児童生徒の豊かな心を育んでいる様子がうかがえる。また、授業の中で自己肯定感を高める取組をお願いしたい。 | |

| | |
|---|---|
| | ・　不登校やいじめ等の問題行動の解消は、喫緊の課題となっている。教育相談体制の充実や関係諸機関と連携して解消をお願いしたい。<br>・　学校給食の取組が充実しており、成果を上げている。地場産物の活用を進めていただきたい。<br>・　新体力テスト、生活習慣のアンケート結果は良い傾向にある。学力と同様に、小中一貫の教育を今後も継続していただきたい。<br><br>Ｂ氏<br>・　教育相談体制が組織的にできており、いじめの解消率も高い。生徒指導・教育相談の充実で、子供たちは安心して学校生活を送ることができる。ＳＮＳを媒介としたいじめの事案に対応するための情報モラル教室の開催も適宜行われており、引き続き、粘り強い組織的な対応をお願いしたい。<br>・　「越生子ども未来大学」の実施は、越生町の未来に繋がるもので構成されており、ワクワクドキドキが詰まったすばらしい講座である。郷土を愛する心や想像力を醸成させ、成果を上げている。今後、越生ブランド「越生べに梅の科学」や西川材を活用したものづくりにも焦点をあてた講座ができるとよい。児童生徒作品展に出品し、幅広い活躍の機会にも繋がると期待します。<br>・　新体力テストの結果が小中学校共に県平均を上回り、生活習慣アンケートにおいても、昨年よりポイント数が伸び、良い結果となった。学校における教育活動をはじめ、家庭と連携した食育における取組の成果である。さらに、家庭・地域と連携し、心身ともに健康でたくましい児童・生徒の育成に努めていただきたい。 |

（３）学習環境の整備・充実

<table>
<tr><td>基本目標</td><td colspan="2">Ⅰ　学校教育の充実</td><td>総合評価</td></tr>
<tr><td>重点施策</td><td colspan="2">（３）学習環境の整備・充実</td><td rowspan="2">A</td></tr>
<tr><td>重点施策<br>の<br>主な視点</td><td colspan="2">○　安全・安心な環境整備<br>○　教育機器の整備・充実<br>○　学校図書館の整備<br>○　地域教材の活用</td></tr>
<tr><td>重点施策<br>の<br>内容</td><td colspan="3">・　安全・安心で快適な学校を目指し、施設・設備の計画的な改修を図る。<br>・　ＩＣＴを活用した情報活用能力の育成のための環境を計画的に整備する。<br>・　小学校の段階から外国語教育のさらなる充実を図るため、小・中学校に常駐のＡＬＴを配置する。また、オンラインでの海外交流が円滑に行える環境を整える。<br>・　学校図書館と町立図書館の連携が図れる整備をすすめていく。<br>・　各地区の育成会等と連携した長期休業中の学習の場の設定や充実を図る。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">指標<br>と<br>実績</td><td>指標</td><td colspan="2">実績</td></tr>
<tr><td>令和４年度の主な工事等の状況</td><td colspan="2">・　防犯カメラ設置工事（越生小）<br>・　防犯カメラ設置工事（梅園小）<br>・　下グラウンド脇トイレ新設工事（越生中）<br>・　防犯カメラ設置工事（越生中）</td></tr>
<tr><td>サマースクール<br>の実施状況</td><td colspan="3">① 8/18 … 107 人、② 8/21 … 119 人、③ 8/22 … 103 人<br>④ 8/23 … 97 人、 ⑤ 8/24 … 111 人　■ 合計 … 537 人</td></tr>
<tr><td>成果<br>の<br>概要</td><td colspan="3">○　安全・安心な環境整備を行うために、町内３校に防犯カメラを設置した。また、昭和５５年に設置し老朽化していた、越生中学校下グラウンド横外トイレを新設した。<br>○　教育機器の整備・充実を図るために、昨年度作成した３校共有フォルダを効果的に活用し、データ共有のスリム化を図った。<br>○　学校図書館の整備を図るために、学校図書館と町立図書館の連携を図り、町立図書館から各学校へ図書の貸し出しを行った。<br>○　地域人材の活用を図り、夏季休業中に町内４ヶ所を会場に、４年ぶりに「サマースクール」を実施した。</td></tr>
<tr><td>課題</td><td colspan="3">町内の小中学校３校共に、築年数が経過しており、施設の老朽化が進んでいる。建物を有効に活用するため、老朽化に伴う施設・設備の計画的な整備が必要であり、今後も、各校との情報交換や実態把握を適切に行い、教育委員会施策や予算との兼ね合いから施設の改修計画を検討していく。</td></tr>
<tr><td>意見<br>・提言</td><td colspan="3">Ａ氏<br>・　老朽化に伴う施設・設備の整備については、今後も計画的に進めていただきたい。<br>・　教育機器の整備・充実については、計画的に整備されてきているので 有効活用をお願いしたい。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | ・　学校図書館の整備を図るために、町立図書館の連携は良いことである。読書好きの児童生徒を増やして欲しい。<br>・　サマースクールは良い取組であり、今後も継続していただきたい。<br><br>B氏<br>・　防犯カメラの設置により、起こりうる犯罪や不正行為を未然に防止する抑止力になる。万が一の記録としても重要である。<br>・　越生中学校外トイレを新設したが、今後も老朽化に伴う施設・設備の計画的な整備を進めていただきたい。<br>・　地域人材を活用したサマースクールは、子供たちの学習の場を作るすばらしい取組である。参加人数も大変多く、学力向上にも期待される。 |

（４）教職員の指導力向上

| 基本目標 | Ⅰ　学校教育の充実 | 総合評価 |
|---|---|---|
| 重点施策 | （４）教職員の指導力向上 | A |
| 重点施策の主な視点 | ○　教職員研修の充実<br>○　町費職員等の活用促進<br>○　小中一貫教育の推進<br>○　人事交流の活性化 | |
| 重点施策の内容 | ・　教師一人一人が、課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学び等の視点を取り入れた授業が実践できる指導力を身に付ける。<br>・　ＩＣＴを活用した授業を実践するための研修を充実する。<br>・　全教職員を対象に３校合同研修会を実施し、テーマに沿った研修を実施する。<br>・　３校が、「知・徳・体」の９年間を見通した小中一貫教育を推進するために連携を図る。<br>・　越生小学校と梅園小学校との合同行事や合同授業の取組を行い、お互いのよさを生かした小小連携を一層推進し、義務教育９年間の一貫した教育を推進する。(再掲)<br>・　本町の課題等を近隣市町村と情報共有し、課題解決のための積極的な人事交流を図る。 | |

| 指標と実績 | 指標 | 実績 |
|---|---|---|
| | 学校指導訪問の実施回数 | 小学校…各６回<br>中学校…６回 |
| | ＩＣＴ活用に関わる研修の実施回数 | 小学校…２回<br>中学校…２回 |
| | 小中一貫教育に関わる委員会（学力向上推進委員会、生徒指導委員会、体力向上推進委員会）の実施回数 | 年間９回 |
| | ３校合同研修会の実施状況 | 8/25　同和問題・教職員の不祥事根絶<br>児童の権利に関する研修 |

| 成果の概要 |
|---|
| ○　教職員研修の充実を図るために、梅園小学校では、西部教育事務所及び近隣市町より指導者を招聘し、指導訪問を実施した。越生小学校では、西部教育事務所管内を対象にした「西部地区学力向上のための授業研究会」で、国語・算数・外国語の授業を発表した。<br>○　ＩＣＴを活用した授業を実践するための研修の充実について、「越生町小中学校情報活用能力育成リスト」の見直しを行いながら、各校の好事例を３校で共有することができた。<br>○　夏季休業中に、町教育委員会主催の３校合同研修会を実施し、教職員の不祥事根絶や子どもの権利及び同和問題についての知識を深めた。 |

| | |
|---|---|
| | ○　小小連携や小中一貫教育の推進を図るために、町内各種委員会（学力向上推進委員会、生徒指導委員会、体力向上推進委員会等）や小中連絡会を定期的に実施した。「知・徳・体」の９年間を見通した小中一貫教育の推進について協議を行い、小中の発達の段階における児童生徒の指導について情報交換や連携を図った。<br>○　人事交流の活性化を図るために、入間北部教育委員会連絡協議会を中心に情報交換を行い、越生町の課題に即した積極的な人事異動を実現した。 |
| **課題** | 多くの授業でＩＣＴを活用した授業は実践されているが、担任や教科によって、活用状況に差がある。児童生徒の情報活用能力を育成するために、教職員の研修を行い、教職員の活用能力を高めていく必要がある。<br>小小連携や小中一貫教育のより一層の推進を図るために、各種リーフレットの見直しを行い、時代に即した内容に変更していく。 |
| **意見・提言** | Ａ氏<br>・　教職員の指導力向上のため、研修がしっかりと行われていることは良いことである。 研修により、児童生徒の学力や体力、豊かな人間性の育成に大きな成果を上げることが期待される。今後も教職員の指導力向上のため、学校での地道な実践と、教育委員会による指導支援に努めていただきたい。<br>・　今日的課題の研修とともに、不易の部分である、教職員の資質の向上と育成に努めていただきたい。<br><br>Ｂ氏<br>・　「西部地区学力向上のための授業研究会」の発表をはじめ、各校指導者を招聘したり、教育委員会による学校指導訪問を各校６回行ったり、授業力の向上に努めており、教職員の指導力の向上と児童生徒の学力向上に期待がもてる。<br>・　学校間研修・各種研修については、オンラインを積極的に活用し、教職員の負担が増えないようにお願いしたい。また、ペーパーレス化も進めていただきたい。<br>・　教職員のＩＣＴの活用についての差をうめるためにも、ＩＣＴ専門職員の学校巡回があると不得手な教職員も安心して活用ができる。<br>・　働き方改革を推し進め、教職員のライフスタイルにあった研修をし、指導力向上に繋げていただきたい。 |

Ⅱ　家庭・地域の教育力の向上

（１）学校運営協議会制度の導入

| 基本目標 | Ⅱ　家庭・地域の教育力の向上 | 総合評価 |
|---|---|---|
| 重点施策 | （１）学校運営協議会制度の導入 | A |
| 重点施策の主な視点 | ○　学校・地域の連携・協働の強化<br>○　小中一貫教育の推進 | |
| 重点施策の内容 | ・　これまでの取組を継承しつつ、学校・家庭・地域がさらに一体となった教育を実現するための組織づくりに努める。<br>・　学校運営協議会と越生町小中学校連合ＰＴＡの連携のとれた活動を推進する。 | |

| 指標と実績 | 指標 | 実績 |
|---|---|---|
| | 学校運営協議会の実施状況 | 越生小学校<br>6/24、11/11、2/28…計３回<br>梅園小学校<br>6/13、10/31、2/24…計３回<br>越生中学校<br>6/23、10/28、2/15…計３回 |

| 成果の概要 | ○　学校・地域の連携・協働の強化を図るために、学校運営協議会を開催し、学校行事や授業の参観、学校評価の結果を通して地域、保護者の立場からの様々な意見を聴取することができた。また、本町の教育活動の特色や課題についても総合的な観点から意見をいただくことができた。<br>○　小中一貫教育の推進を図るために、越生町小中学校連合ＰＴＡの活動を支援し、意見要望を聴取し、改善に向け取り組むことができた。 |
|---|---|
| 課題 | 学校運営協議会を通じて、学校の特色や課題を明確に示し、地域とともにある学校を一層発展させるため、協議を活性化させ、地域人材を有効に活用しながら、学校・地域の連携・強化をさらに進めていきたい。また、小中一貫教育を意識し、町全体の課題についても協議を重ねていきたい。 |
| 意見・提言 | Ａ氏<br>・　この制度が導入されて５年目となり、当該校や本町の教育課題について意見聴取するなど、内容が充実してきている。学校経営の充実や本町の教育の発展が期待できる。<br><br>Ｂ氏<br>・　学校運営協議会は、地域と共にある学校づくりである。教育は皆でやるもの。それぞれの相互理解を深めながら進めていることが分かる。地域の交流が活発化し、さらに子供たちの未来に繋がる魅力ある越生町創生を期待する。 |

（２）越生町「３つのあ」の推進

<table>
<tr><td>基本目標</td><td colspan="2">Ⅱ　家庭・地域の教育力の向上</td><td>総合評価</td></tr>
<tr><td>重点施策</td><td colspan="2">（２）越生町「３つのあ」の推進<br>※　３つのあ：あいさつ、あしもと、あとしまつ</td><td rowspan="2">A</td></tr>
<tr><td>重点施策<br>の<br>主な視点</td><td colspan="2">○　大人が手本を示すまちづくり<br>○　発達の段階に即した「３つのあ」の推進<br>○　幼保・小・中学校の連携強化</td></tr>
<tr><td>重点施策<br>の<br>内容</td><td colspan="3">・　あいさつ運動を広く周知し、大人が手本を示すまちづくりを推進する。<br>・　越生町・越生町教育委員会が推進する「３つのあ」のリーフレットを活用し、子供の発達の段階に応じた内容を推進する。<br>・　新入園児にリーフレットを配布し、「３つのあ」の啓発を行ったり、幼・保・小・中が「３つのあ」の視点での共通理解を図ったりすることで、幼・保・小・中の連携を強化する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">指標<br>と<br>実績</td><td>指標</td><td colspan="2">実績</td></tr>
<tr><td>３つのあ「あいさつ」について、「しっかりできている」＋<br>「できている」の割合</td><td colspan="2">小 1…100%、　小 2…92.3%<br>小 3…91.5%、小 4…88.9%<br>小 5…85.9%、小 6…92.6%<br>中 1…98.4%、　中 2…98.2%<br>中 3…98.4%、　<u>全体 94.0%</u><br><br>※　前年度<br>小 1…89.1%、小 2…98.0%<br>小 3…97.0%、小 4…89.5%<br>小 5…91.9%、小 6…94.1%<br>中 1…96.7%、　中 2…98.4%<br>中 3…100%、　<u>全体 95.0%</u></td></tr>
<tr><td>３つのあ「あしもと」について、「しっかりできている」＋<br>「できている」の割合</td><td colspan="2">小 1…86.0%、小 2…84.6%<br>小 3…93.6%、小 4…90.5%<br>小 5…91.5%、小 6…86.6%<br>中 1…91.8%、中 2…94.7%<br>中 3…95.1%、　<u>全体 90.5%</u><br><br>※　前年度<br>小 1…96.4%、小 2…87.8%<br>小 3…92.6%、小 4…94.8%<br>小 5…90.5%、小 6…92.7%<br>中 1…100%、　中 2…95.1%<br>中 3…94.7%、　<u>全体 93.8%</u></td></tr>
</table>

| | | |
|---|---|---|
| | ３つのあ「あとしまつ」について、「しっかりできている」＋「できている」の割合 | 小 1…100%、 小 2…96.2%<br>小 3…93.6%、小 4…88.9%<br>小 5…88.7%、小 6…85.1%<br>中 1…93.4%、中 2…91.2%<br>中 3…100%、 **全体 93.0%**<br><br>※ 前年度<br>小 1…96.3%、小 2…93.9%<br>小 3…86.6%、小 4…92.1%<br>小 5…91.9%、小 6…92.6%<br>中 1…98.3%、中 2…95.0%<br>中 3…93.0%、**全体 93.3%** |
| **成果の概要** | ○ 大人が手本を示すまちづくりを推進するために、「広報おごせ」を活用し、町民全体に意識の啓発を行った。<br>○ 発達の段階に即した「３つのあ」の推進するために、「家庭学習・家庭生活のすすめ」などの各種リーフレットを保護者会等で積極的に活用し、啓発を行うことができた。<br>○ 幼保・小・中学校の連携強化を図るために、町内の幼稚園、保育園の新入園児の保護者へ「３つのあ」のポスターを配布し、「３つのあ」の啓発を行った。 | |
| **課題** | 平成１７年度より、３つのあ運動が展開され、越生町教育委員会では、様々な啓発活動を行ってきた。３つのあを学校教育活動全体を通して取り組むことで、学年が上がるにつれて、アンケート結果の数値は高くなっている。今後も、幼保・小・中学校の連携強化を図り、すべての子供たちが当たり前に実践できるよう継続して啓発を行っていく。 | |
| **意見・提言** | A氏<br>・ 「３つのあ」の取組は、全体的に高い達成率を示している。平成 17 年度より継続して取り組んでいる成果と言える。日常生活の中で基本的事項である越生町「３つのあ」の取組を、今後も学校・家庭・地域と連携し、推進していただきたい。<br><br>B氏<br>・ 越生町「３つのあ」は、越生町全体の運動として、広がりを見せている。越生町広報では「３つのあ」をＰＲする小学生の『あさいつ広め隊』の皆さんをはじめ、代表委員の皆さん、中学生の生活委員の皆さんの笑顔がはじけている。各学校での活動が、このようなすばらしいアンケート結果に繋がっている。１９年間確実に積み上げたものが、このような成果となり越生町の未来はたのもしい。 | |

（３）学校応援団活動の推進

<table>
<tr><td>基本目標</td><td colspan="2">Ⅱ　家庭・地域の教育力の向上</td><td>総合評価</td></tr>
<tr><td>重点施策</td><td colspan="2">（３）学校応援団活動の推進</td><td rowspan="2">A</td></tr>
<tr><td>重点施策<br>の<br>主な視点</td><td colspan="2">○　学校のニーズに応える学校応援団活動の支援<br>○　越生町の人的資源の活用<br>○　児童・生徒の体験活動等の充実</td></tr>
<tr><td>重点施策<br>の<br>内容</td><td colspan="3">・　ボランティアとして学校への協力・支援を行う保護者・地域の力を応援する。<br>・　学校応援団活動を活用し、登下校の安全確保や学習のための環境整備を図る。<br>・　越生町ならではの地域の教育力を活用した特色ある体験活動に取り組み、創造力を育む。（再掲）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">指標<br>と<br>実績</td><td>指標</td><td colspan="2">実績</td></tr>
<tr><td>学校応援団の推進に係る教育委員会としての取組（学校応援団の推進に係る調査１１項目中）</td><td colspan="2">・　校長会・教頭会などでの情報提供<br>・　学校応援団推進のための、関係者会議を実施<br>・　広報誌などによる普及・啓発<br>・　ボランティア登録をするなど、市町村独自の人材バンクの活用</td></tr>
<tr><td>成果<br>の<br>概要</td><td colspan="3">○　学校のニーズに応える学校応援団活動の支援を行うために、町長・教育長との意見交換会を実施し、各校のＰＴＡから要望を聴取し、学校教育活動に反映することができた。<br>○　越生町の人的資源の活用を図るために、登下校の見守り活動を充実させた。特に、交通指導員や見守りボランティアの方々と協力して登下校の安全確保を図ることができた。また、小学校の読書ボランティや中学校の武道『空手』の授業等、地域の人材を有効に活用することができた。<br>○　越生町ならではの地域の教育力を活用し、越生町の特産果樹を活用した梅もぎ体験や梅干しづくり体験、豊かな自然を活用した間伐体験や丸太アート体験、学校ファームの活動を行った。</td></tr>
<tr><td>課題</td><td colspan="3">学校応援団活動を推進していくために、学校運営協議会と連携し、学校・家庭・地域が一体となり、子供の成長を支援するための支援策を充実させていきたい。<br>体験活動の取り組みについては、昨年度以上に様々な体験を行うことができた。今後は、各校の特色を生かしながら、発達段階に応じた体験活動がより充実するよう、教育委員会も支援していく。</td></tr>
<tr><td>意見<br>・提言</td><td colspan="3">Ａ氏<br>・　学校での学習や体験活動、環境整備の支援、登下校の見守り活動など学校応援団活動が、家庭や地域の協力のもと盛んに行われている。また、昨年度よりも充実した取組が行われていて良い。今後も、人的、物的、関係者会議などを通して、学校応援団活動を推進していただきたい。</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | B氏<br>・　学校における学習活動、安心・安全確保、地域の教育力を生かした活動など多岐にわたり、地域の力が多く活用されている。<br>・　学校応援団活動の支援のために、町長・教育長との意見交換会を実施し、越生町全体で子供を育てていこうという“魂”を感じる。<br>・　重点施策についての成果も大きく、今後の活動にも注目していきたい。 |

（４）家庭教育支援体制の充実

| 基本目標 | Ⅱ　家庭・地域の教育力の向上 | 総合評価 |
|---|---|---|
| 重点施策 | （４）家庭教育支援体制の充実 | A |
| 重点施策の主な視点 | ○　家庭の教育力向上への支援<br>○　「親の学習」の推進<br>○　教育に関する相談体制の充実 | |
| 重点施策の内容 | ・　「家庭生活・家庭学習のすすめ」「より良い学習の進め方」のリーフレットを活用し、学校と家庭が協力して児童生徒の基本的な生活習慣や家庭学習習慣を身に付けさせる。<br>・　越生子ども未来大学及びサマースクールを実施し、地域の教育力を生かした越生町ならではの学びの場をさらに充実させる。<br>・　家庭教育アドバイザーの活用、民生・児童委員との連携、保護者会の工夫等により、家庭教育の充実を推進する。<br>・　スクールソーシャルワーカーを配置し、家庭の相談体制を構築する。 | |

**指標と実績**

| 指標 | | 実績 | | |
|---|---|---|---|---|
| 越生子ども未来大学の実施状況 | | 日付 | 講座名 | 参加人数 |
| | 1 | 7/27 | Let's Enjoy English! | 23 人 |
| | 2 | 7/29 | 越生まつり密着レポート！プロの作家から作文を習おう | 10 人 |
| | 3 | 7/31 | 「心・技・体」武道(BUDO)すごいぞ!! | 8 人 |
| | 4 | 8/1 | クルマってすごいね!!クルマはなぜ動くの？ | 24 人 |
| | 5 | 8/4 | 表現で遊ぶ演劇教室プロの女優から演技を習おう | 4 人 |
| | 6 | 8/5 | 巨大風船を作って遊ぼう | 33 人 |
| | 7 | 8/6 | 大空にロケットを飛ばそう！ | 30 人 |
| | 8 | 8/8 | 今、宇宙がおもしろい！ | 12 人 |
| | 9 | 8/10 | 越生町のチョウとチョウが水にぬれない「ふしぎ」の実験 | 19 人 |
| | 10 | 8/19 | みんなで打とう！和太鼓ドンドン♪ | 20 人 |
| | 11 | 8/22 | 越生町のホタルとホタルが光る「ふしぎ」の実験 | 21 人 |
| サマースクールの実施状況 | ① 8/18 … 107 人、② 8/21 … 119 人、③ 8/22 … 103 人<br>④ 8/23 … 97 人、 ⑤ 8/24 … 111 人　■ 合計 … 537 人 | | | |
| 家庭教育学級の実施状況 | ・越生小学校　　計２回<br>7/15 『アロマクラフト講座』<br>2/17 『リンゴのタタンお菓子作り』<br>・梅園小学校　　計２回<br>6/30 『スマートフォンなどを利用したインターネットの危険性と保護者の役割』<br>12/20 『子供達の食事』<br>・越生中学校　計２回<br>6/24 『食のだんらん』<br>1/13 『ペルビックストレッチ』 | | | |

| | | |
|---|---|---|
| | スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問回数 | ８３回<br>※　前年度…１２４回 |
| **成果の概要** | ○　家庭の教育力向上への支援を行うために、リーフレットを使って保護者会や学級懇談会で説明したり、家庭生活・家庭学習に関するアンケートを分析したりして、望ましい生活習慣について示すことができた。<br>○　地域の教育力を生かした越生町ならではの学びの場である、「越生子ども未来大学」及び「サマースクール」を４年ぶりに開催することができた。<br>○　「親の学習」の推進を図るために、学校に家庭教育アドバイザー派遣についての紹介を行い、就学時検診の際に小学校で実施している家庭教育学級開催の支援を行った。<br>○　スクールソーシャルワーカーを配置し、問題を抱えている子供及び保護者等に支援を行うなど、教育に関する相談体制の充実を図ることができた。 | |
| **課題** | 子供たちの健全育成には、学校・家庭・地域との共通理解を図ることが大切である。保護者・地域の考え方も多様化しているため、学校教育の推進と合わせて、家庭教育の推進をしていく必要がある。<br>外部機関との連携を密に図り、多様な価値観に触れる機会を設定し、家庭教育支援体制の充実を図っていく。 | |
| **意見・提言** | Ａ氏<br>・　教育の原点は家庭にあるわけであるが、保護者の価値観が多様化している。「家庭生活・家庭学習のすすめ」「より良い学習の進め方」のリーフレットの活用は、学校と家庭が協力して行うことにより、成果を上げているので、今後も継続して取り組んでいただきたい。また、「親の学習」を推進していただきたい。<br>・　越生町ならではの学びの場である「越生子ども未来大学」や「サマースクール」は良い取組なので、今後も継続していただきたい。<br>・　スクールソーシャルワーカーを配置し、家庭との教育相談体制が構築されることは良いことであり、成果が期待できる。<br><br>Ｂ氏<br>・　家庭生活・家庭学習のすすめ」は小学１年から中学３年まで各学年に作成されており、児童生徒が自分で目標をたて、活用できるようになっている。保護者の子供への学習支援ポイントもあり、「より良い学習の進め方」についても、子供の発達段階に合わせて作成されている。リーフレットの活用は、基本的生活習慣や家庭学習習慣を身に付けさせ、家庭の教育力向上への大きな支援となっている。今後も長く継続していただきたい。<br>・　越生子ども未来大学及びサマースクールの実施は、家庭教育支援体制の充実に大きく貢献しており、すばらしい実績である。<br>・　家庭教育は全ての教育の出発点である。家庭教育の支援という意味から、小学入学前の就学時検診や入学説明会の機会に保護者へ家庭教育の重要性を伝えたい。小学入学の第一歩として、家庭教育アドバイザーの活用は有効であり、義務教育を通じ、引き続き家庭教育の充実のための支援を推進させていただきたい。<br>・　スクールソーシャルワーカーの継続配置により、相談体制の充実に結びついている。 | |

（５）安全・安心な町づくり

<table>
<tr><td>基本目標</td><td colspan="2">Ⅱ　家庭・地域の教育力の向上</td><td>総合評価</td></tr>
<tr><td>重点施策</td><td colspan="2">（５）安全・安心な町づくり</td><td rowspan="2">A</td></tr>
<tr><td>重点施策<br>の<br>主な視点</td><td colspan="2">○　児童・生徒の安全・安心な登校・下校への支援<br>○　学校・家庭・地域の連携強化<br>○　被害を未然に防ぐ体制づくり</td></tr>
<tr><td>重点施策<br>の<br>内容</td><td colspan="3">・　安全確保のため、自転車に乗る際には、小・中学生ともにヘルメットを着用することを奨励する。<br>・　親子で情報モラルについての考える機会を与え、実践力を養う。<br>・　「地域学校安全指導員（スクールガードリーダー)」、「町内の防犯団体」、「見守り隊（ボランティア)」、「子ども１１０番の家」などと連携・協力し、児童生徒の安全を確保する。<br>・　通学路の危険箇所を点検し、関係各課と連携を図りながら安全を確保する。<br>・　「一斉メール配信」を活用し、防犯情報等を適時適切に配信し、保護者等に周知する。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">指標<br>と<br>実績</td><td>指標</td><td>実績</td><td></td></tr>
<tr><td>スクールガードリーダー配置人数・活動回数</td><td>越生小学校…１名・４２５回<br>梅園小学校…１名・２１３回</td><td></td></tr>
<tr><td>情報モラル教室実施状況</td><td>児童生徒対象　　※ 保護者も希望参加<br>・越生小学校　　計１回<br>10/27 KDDI『e-ネット安心講座』<br>・梅園小学校　　計１回<br>2/2 埼玉県ネットアドバイザー『子供安全見守り講座』<br>・越生中学校　　計２回<br>7/15 KDDI『スマホ・ケータイ安全教室』<br>12/21 NTT ドコモ『スマホ・ケータイ安全教室』<br>川越人権擁護委員会<br>保護者対象<br>・梅園小学校　　計１回<br>6/30 埼玉県ネットアドバイザー『子供安全見守り講座』</td><td></td></tr>
<tr><td>子ども１１０番の家の指定状況</td><td>１０４軒<br>※　前年度１０６軒</td><td></td></tr>
<tr><td>成果<br>の</td><td colspan="3">○　児童・生徒の安全・安心な登校・下校への支援を行うために、スクールガードリーダーを委嘱している。自転車用ヘルメットを小学校卒業生に贈呈し、中学校での</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| **概要** | 自転車通学の安全を確保した。また、中学生の自転車通学にかかる傷害総合保険の保険料を町が負担し、全生徒が加入した。<br>○　児童生徒の情報モラル教室と合わせて保護者対象も実施することができ、親子で情報モラルについて考える機会を設定することができた。<br>○　関係課と連携を図り、地域学校安全指導員（スクールガードリーダー）や交通指導員、見守りボランティアの方々と協力して、登下校の安全確保を図ることができた。<br>○　被害を未然に防ぐ体制づくりを図るために、ＰＴＡや学校から要望を募り、通学路の危険箇所を把握し、関係各課と連携を図りながら改善をし、安全確保を図ることができた。また、防犯情報や自然災害等について適時適切に保護者に周知できるよう、「一斉メール配信」を効果的に活用した。 |
| **課題** | 子供たちの安全は、何よりも最優先されるべき最重要課題であり、登下校については、交通事故や不審者との遭遇等が心配され、家庭や地域の協力なくして安全確保はできない。学校・家庭・地域の見守り体制を構築し、首長部局の関係各課とも積極的に連携し、今後さらなる充実を図っていく。<br>ＳＮＳトラブルは近年増加傾向にあり、情報モラルを身につけることは、喫緊の課題となっている。学校・家庭で連携を密に図り、効果的な指導方法等を研究していく。 |
| **意見・提言** | Ａ氏<br>・　児童生徒が安全に登下校できるために、保護者・地域、スクールガードリーダーなどの見守り活動や「子ども 110 番の家」など、地域ぐるみの活動は効果的であり、今後も継続していただきたい。<br>・　情報モラル教育が、児童生徒のみならず保護者も参加して行われていることは良いことであり、今後も学校・家庭と連携して取り組んでいただきたい。<br>・　「一斉メール配信」が整備され、効果的に活用されている。<br><br>Ｂ氏<br>・　児童生徒の安全・安心な登下校の支援を組織的に行い、安全が確保されている。令和５年４月１日より、改正道路交通法の施行により、全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となった。保護者も含めた児童生徒への安全意識の醸成を引き続きお願いしたい。 |

## Ⅲ　生涯学習の推進

### （１）ー芸・ースポーツ・ーボランティアの推進

| 基本目標 | Ⅲ　生涯学習の推進 | 総合評価 |
|---|---|---|
| 重点施策 | （１）ー芸・ースポーツ・ーボランティアの推進 | A |
| 重点施策の主な視点 | ○　文化、芸術活動によるコミュニティの推進<br>○　スポーツを通じた健康づくりの推進<br>○　文化・スポーツ団体への活動支援 | |
| 重点施策の内容 | ・　公民館等サークル団体の活動を支援するとともに、若年層の利用促進を図る。<br>・　手軽にできるスポーツを通じた健康づくりを推進する。<br>・　サークル活動を通じてのボランティア活動を推進する。 | |

| 指標と実績 | 指標 | 実績 |
|---|---|---|
| | 公民館・体育施設等の登録団体数 | １９８団体 |
| | 主要事業の参加者数 | 子どもおはやし大会：　１０２人<br>ラジオ体操実践教室：　６９人<br>町民体育祭：　中止<br>越生町文化祭：　１，１７８人<br>七つの祝い：　４５人<br>越生町人権問題講演会：　２７１人<br>二十歳のつどい：　７２人<br>クリーンハイク：　２４人<br>梅の里生涯学習講座：　１８９人<br>子どもフェスティバル：　４６３人<br>納涼ふれあいまつり：　４４０人<br>パークゴルフ場ボランティア整備：<br>１，０３５人 |
| | 公民館等施設の利用者数<br>体育施設の利用者数 | ２９，７４８人<br>３６，６８６人 |

| 成果の概要 |
|---|
| ○　文化、芸術活動によるコミュニティの推進を図るために、公民館等を使用する登録団体のうち、町民が過半数以上で構成する団体については、施設使用料を原則免除し、サークル活動の活性化を図った。<br>○　スポーツを通じた健康づくりを推進するために、各地区で実施している朝のラジオ体操へ２００日以上参加された方を対象に表彰をし、健康維持の促進に努めた。<br>○　新型コロナウイルス感染症が２類から５類に移行されたことにより、施設の利用制限を解除し、文化・スポーツ団体がコロナ禍前、同様の活動ができるように努めた。<br>○　パークゴルフ場を４月１日にオープンした。また、利用者を中心としたボランティア団体とともにより良いコースとなるよう管理に努めている。 |

| | |
|---|---|
| **課題** | 公民館等で活動するサークルは、高齢化により会員数が減少する傾向にある。今後もサークル活動が継続的にできるよう施設の環境整備などを通して、生涯学習の推進に努めていく必要がある。<br>また、スポーツを通じた健康づくりについては、社会構造の変化により年齢と体力に応じた事業を進める必要がある。<br>パークゴルフ場について、個人だけではなく団体の利用もあるため、団体に対する受付方法を検討する必要がある。 |
| **意見・提言** | A氏<br>・　人生を心豊かに過ごすために、「一芸・一スポーツ・一ボランティア」の合言葉は、わかりやすく、実践してみたくなる言葉として定着している。<br>・　施設使用料の免除、イベント開催、教室・講座の開催、文化・スポーツ団体への活動支援などを通して、生涯学習が推進されている。コロナ禍前と同様に、文化スポーツ活動が活発に行われていることは良いことである。<br>・　パークゴルフ場の有効活用のため、パークゴルフの普及と団体の育成、施設の維持管理等に努めていただきたい。<br>・　少子高齢化により、文化・スポーツ活動への参加の減少が予測される。今後、活動に手軽に参加できるよう、時代のニーズにあった施策が望まれる。<br><br>B氏<br>・　生涯学習は、年齢に関係なくいつでもできる自分の人生のための勉強である。町民のサークル団体の公民館使用料の免除やラジオ体操の表彰等、継続活動がしやすい工夫をしていただいている。<br>・　コロナも２類から５類になり、主要事業の実施回数が増し、利用者数も格段に増え、関係者の努力がうかがえる。特に、パークゴルフ場のオープンは、健康の保持増進にも重要な役割を果たし、活力のある越生町づくりに繋げている。 |

（２）越生町が誇る歴史文化の継承と活用

<table>
<tr><td>基本目標</td><td colspan="2">Ⅲ　生涯学習の推進</td><td>総合評価</td></tr>
<tr><td>重点施策</td><td colspan="2">（２）越生が誇る歴史文化の継承と活用</td><td rowspan="2">A</td></tr>
<tr><td>重点施策<br>の<br>主な視点</td><td colspan="2">○　ハイキングのまちと連携した文化財の活用<br>○　郷土の偉人を生かした取組の推進<br>○　文化財の計画的な保護と継承</td></tr>
<tr><td>重点施策<br>の<br>内容</td><td colspan="3">・　ＩＣＴを利用し、「ハイキングのまちづくり」と連携した文化財の活用を図る。<br>・　身近な文化財や郷土にゆかりある人物の理解を通して、郷土意識への関心を深める。<br>・　文化財の現状を把握し、実態に即した計画的な保存策を講じる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">指標<br>と<br>実績</td><td>指標</td><td colspan="2">実績</td></tr>
<tr><td>指定・登録制度を活用した文化財の保護及び文化財保護事業並びに文化財活用・普及事業</td><td colspan="2">・「越生町文化遺産活用事業」<br>・埋蔵文化財包蔵地に係る開発行為への対応<br>・文化財活用、普及事業<br>・研修、見学会への協力</td></tr>
<tr><td>成果<br>の<br>概要</td><td colspan="3">○　「越生町文化遺産活用事業」では、令和５年度文化庁文化芸術振興費補助金（２次募集）に、新宿文化遺産活用実行委員会が応募し、山車彫刻の修理事業を行った。事業運営にあたり、越生町文化遺産活用実行委員会を開き、会構成団体への情報共有、事務手続きの支援を行った。上野獅子舞保存会が、埼玉県文化振興基金助成事業（追加募集）を活用し、獅子舞用具（篠笛）新調事業を実施することができた。<br>○　文化財保護事業では、埋蔵文化財包蔵地に係る各種開発行為への対応として、埋蔵文化財包蔵地の照会対応や、試掘調査１件、立会調査２件を行った。<br>○　文化財活用・普及事業では、越生まつり・文化祭に合わせた展示や、越生駅西口ギャラリーを利用した「太田道灌像展」を実施した。<br>○　梅園小学校、越生小学校３年生の社会科見学等の研修・見学会へ同行し、各文化財についての説明を行った。町民から「おごせまなび亭出前講座」の依頼を受けて、講義を行った。</td></tr>
<tr><td>課題</td><td colspan="3">本町には、さまざまな有形無形の文化財があり、先人から受け継いだかけがえのない歴史、文化、自然遺産を後世に伝えることは私たちの責務である。しかしながら、文化財所有者や管理者、保存会においては、有形文化財の防火防犯、天然記念物などの現状維持、伝統行事・民俗芸能の保存継承など、計画的に適切な施策を講じることが求められている。今後も、さまざまな文化財のおかれた状況に合った保護・活用を行っていく必要がある。</td></tr>
<tr><td>意見<br>・提言</td><td colspan="3">Ａ氏<br>・　「ハイキングのまちづくり」との連携では、文化財解説板、標柱の整備やICTを活用した文化財の情報発信は、町民の郷土に対する理解と関心を深めるとともに、町を訪れる人に文化財を知っていただく良い機会となっている。<br>・　町内には有形無形の文化財が沢山ある。指定文化財への補助金の交付、修復、普及・啓発、ゆかりの人物を通した郷土意識の涵養など、様々な充実した取組を行っ</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| | ている。今年度は、文化遺産活用事業、文化財活用・普及事業、出前授業や出前講座などで成果を上げている。今後も文化財保護行政を推進していただきたい。<br><br>B氏<br>・　越生町が誇る様々な有形無形の文化財を「ハイキングのまちづくり」と合わせ、文化観光を通じ計画的な文化財保護をこれからもすすめていただきたい。<br>・　越生町は、文化財が多数である。子供たちに越生町の歴史を継承するため、「おごせまなび亭出前講座」の充実もお願いしたい。 |

（３）生涯学習施設の環境整備

| 基本目標 | Ⅲ　生涯学習の推進 | 総合評価 |
|---|---|---|
| 重点施策 | （３）生涯学習施設の環境整備 | A |
| 重点施策の主な視点 | ○　梅園コミュニティ館の活性化<br>○　公民館、スポーツ施設の環境整備<br>○　図書館サービスの充実 | |
| 重点施策の内容 | ・ 梅園コミュニティ館内に開設した「越生町立図書館梅園分室」への配本の充実を図る。<br>・ 施設の老朽化に対応した計画的な維持管理に努める。<br>・ 町立図書館の蔵書を有効活用し、小中学校図書室との連携を強化する。<br>・ 越生駅西口総合案内所での新たな図書館サービスの拡充を図る。 | |

| 指標と実績 | 指標 | 実績 |
|---|---|---|
| | 公民館等の利用者数 | 令和５年　（令和４年）<br>中央公民館：７，９８４人（１，３６４人）<br>やまぶき公民館：１２，９７２人（１１，０１６人）<br>ゆうがく館：１，５７３人（１，９９１人）<br>梅園コミュニティ館：３，５８６人（２，４３１人）<br>パークゴルフ場：４，６３４人（１，８２９人） |
| | 図書館の利用実績 | 令和５年　（令和４年）<br>利用延べ人数：１１，７７０人（１１，６８７人）<br>図書貸出点数：４６，９８２点（４６，８２１点）<br>町民一人当たりの<br>貸出点数：３．８点（３．７点）<br>蔵書点数：６．８点（７．９点） |

| 成果の概要 |
|---|
| ○　老朽化した中央公民館及び体育館の屋根及び外壁等の改修工事を令和６年度に実施するための設計業務を行った。<br>○　町立図書館で借り受けた図書を、越生駅西口総合案内所及び梅園コミュニティ館に返却できるサービスを実施した。<br>　また、越生駅西口総合案内所には、リサイクル図書コーナーを設置し、図書の有効活用と利用者の利便性に配慮した。<br>○　新型コロナウイルスの影響により中止していた「図書館こどもまつり」を再開した。定期的に開催することにより図書館の利用促進を図っている。<br>○　読書環境の整備を図るため、図書館内の照明器具をＬＥＤ器具にすべて交換した。<br>○　パークゴルフ場のオープンに伴い、誰でもプレーできるように貸出用のクラブ等を整備した。また、芝の育成に支障のある樹木の伐採などの作業を行った。 |

| | |
|---|---|
| **課題** | 中央公民館、やまぶき公民館、ゆうがく館、梅園コミュニティ館、図書館は、築３０年以上経過しているため、大規模改修や設備の更新時期が到来している。中央公民館、やまぶき公民館、梅園コミュニティ館は、災害時の指定避難所になっていることから、安全性の確保を含めた早期の対応をする必要がある。<br>図書館の利用促進として、越生町立図書館梅園分室の運営、各種事業の開催等のサービスの充実により、一定の成果が挙げられた。利用者数と貸出点数を維持していくためには、引き続き、図書等資料の充実とともに、新たなサービスにより利用促進に努めていく必要がある。<br>また、越生駅西口総合案内所のリサイクル図書コーナーを通じ、駅利用者に対して図書館のピーアールを図りたい。<br>パークゴルフ場の芝の管理については、専門業者と委託契約を結んでいるが、それ以外の草刈りや除草剤散布について検討する必要がある。 |
| **意見・提言** | Ａ氏<br>・　前年度と比較して、公民館等の利用者数が増え、図書館の利用実績も増えていることは良いことである。<br>・　公民館やスポーツ施設の老朽化に対応した改修や設備の更新を、計画的に実施していただきたい。<br>・　図書館では、梅園分室の運営や小中学校図書館との連携、越生町西口総合案内所の活用、各種事業の開催等の充実による利用促進に努め、成果を上げている。今後も利用者数、貸出点数の維持・向上に向け、図書等資料やサービスの充実に努めていただきたい。<br>・　パークゴルフ場や貸出用クラブ等が整備されたので、パークゴルフの普及と振興を期待する。<br><br>Ｂ氏<br>・　図書館の利用促進に関して、梅園分室の運営、図書館こどもまつりの再開、各種事業のサービスの充実により、利用延べ人数・図書貸出点数・町民一人当たりの貸出点数も増え、成果を上げている。<br>・　来年度における中央公民館及び体育館屋根･外壁等の改修工事の設計業務の実施、図書館内の照明器具をＬＥＤに変えるなど、施設の老朽化に関しても計画的にすすめ、環境整備を行っている。 |

## ５　教育委員会会議等の活動状況

### （１）委員会構成

| 教育長 | 教育長<br>職務代理者 | 委員 | 委員 | 委員 |
|---|---|---|---|---|
| 原口　仁 | 青柳　高 | 内藤　久美子 | 仲　晃良 | 佐藤　直美 |

### （２）会議等の開催

教育委員会会議は、定例会を９回開催し、議案等を審議いたしました。また、首長部局が事務局となる「越生町総合教育会議」を１回開催いたしました。

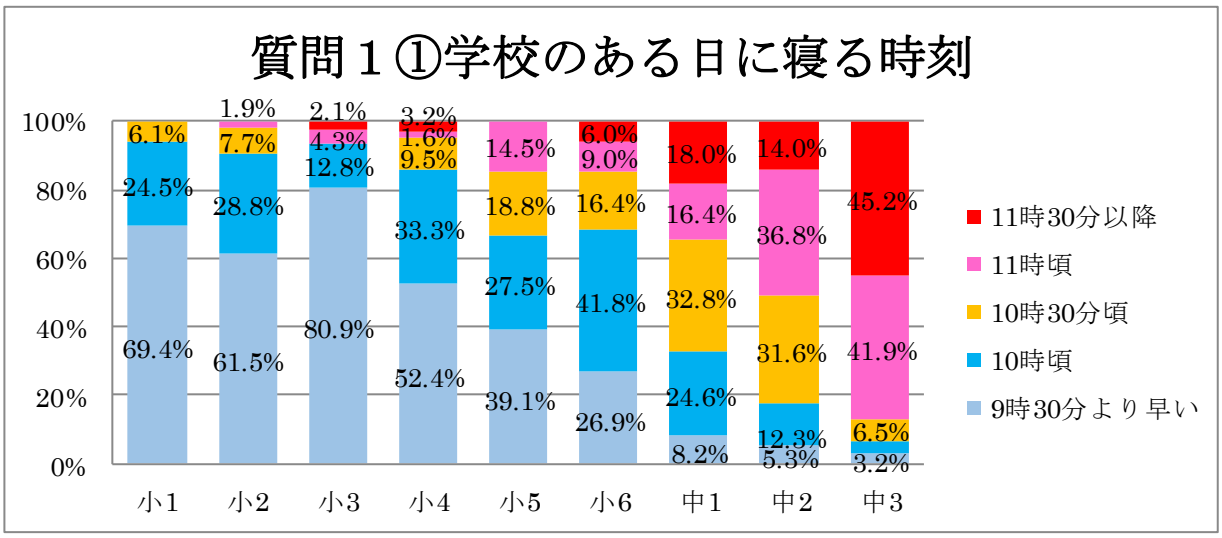
| 会議・開催日 | 議　案　等 |
|---|---|
| 令和５年第３回<br>・５月１０日 | 議案第８号　令和５年度越生町教育委員会教育費補正予算について<br>承認第６号　「教育要覧おごせ」令和５年度版の発行について<br>承認第７号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>報告第５号　専決処分の報告について<br>報告第６号　専決処分の報告について<br>報告第７号　専決処分の報告について |
| 令和５年第４回<br>・６月８日 | 議案第９号　越生町社会教育委員の委嘱について<br>協議第２号　令和５年度越生町教育委員会事務局点検評価報告書について（対象：令和４年度の教育行政施策）<br>承認第８号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>報告第８号　令和５年第２回（６月）越生町議会定例会について<br>報告第９号　越生町スポーツ推進委員の委嘱について |
| 令和５年第５回<br>・７月１３日 | 議案第１０号　令和５年度埼玉県学力・学習状況調査結果及び令和５年度全国学力・学習状況調査結果の公表について<br>協議第　３号　令和５年度越生町教育委員会事務局点検評価報告書（対象：令和４年度の教育行政施策）について<br>協議第　４号　令和６年度使用教科用図書の第１１採択地区教科用図書採択協議会選定（案）について<br>承認第　９号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>報告第１０号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>報告第１１号　越生町教育委員会の後援名義使用について |
| 令和５年第６回<br>・８月３日 | 議案第１１号　令和５年度越生町教育委員会事務局点検評価報告書（対象：令和４年度の教育行政施策）について<br>議案第１２号　令和６年度使用小学校教科用図書の採択について<br>議案第１３号　令和５年度越生町教育委員会教育費補正予算について<br>承認第１０号　越生町教育委員会の後援名義使用について |

| | |
|---|---|
| 令和５年第７回<br>・９月２６日 | 議案第１４号　令和６年度当初越生町教職員人事異動方針について<br>承認第１１号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>承認第１２号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>承認第１３号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>承認第１４号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>承認第１５号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>承認第１６号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>報告第１２号　令和５年第３回（９月）越生町議会定例会について<br>報告第１３号　越生町教育委員会の後援名義使用について |
| 令和５年第８回<br>・１０月１０日 | 協議第５号　越生町教育振興基本計画について |
| 令和５年第９回<br>・１１月８日 | 議案第１５号　第４次越生町教育振興基本計画について<br>議案第１６号　令和５年度越生町教育委員会教育費補正予算について<br>議案第１７号　埼玉県川越市圏まちづくり協議会に鳩山町が加入することに伴う関係条例の整理に関する条例ついて<br>議案第１８号　越生町体育施設管理規則の一部を改正する規則について<br>議案第１９号　越生町立図書館運営規則の一部を改正する規則について<br>協議第　６号　令和６年度当初越生町教育委員会教育費予算について<br>承認第１７号　越生町教育委員会の後援名義使用について |
| 総合教育会議<br>・１１月８日 | 越生町の教育行政（第４次越生町教育振興基本計画）等について |
| 令和６年第１回<br>・２月７日 | 議案第１号　越生町立小・中学校管理職人事異動案について<br>議案第２号　令和６年度越生町一般会計教育費予算について<br>議案第３号　越生町立小・中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則について<br>協議第１号　令和６年度越生町教育行政重点施策について<br>承認第１号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>承認第２号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>承認第３号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>承認第４号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>報告第１号　越生町立小・中学校服務規程の一部を改正する規定について<br>報告第２号　令和５年第４回（１２月）越生町議会定例会について<br>報告第３号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>報告第４号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>報告第５号　越生町教育委員会の後援名義使用について |
| 令和６年第２回<br>・３月１８日 | 議案第４号　越生町教育行政重点施策について<br>承認第５号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>承認第６号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>承認第７号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>報告第６号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>報告第７号　越生町教育委員会の後援名義使用について<br>報告第８号　令和６年第１回（３月）越生町議会定例会について<br>報告第９号　就学援助費認定状況について |

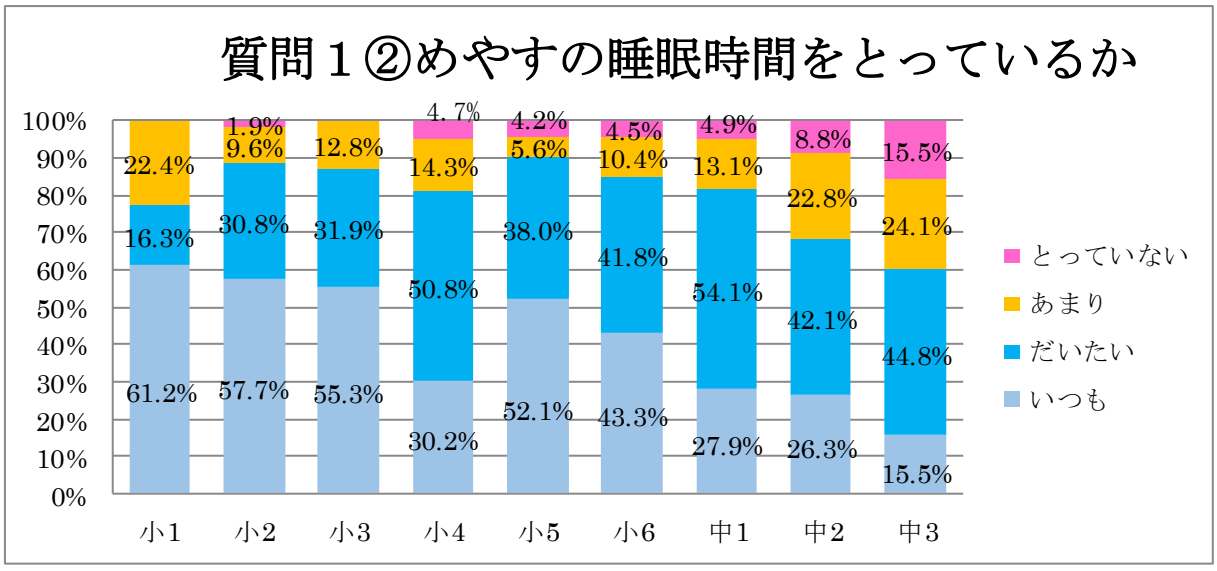
## ６　（参考資料）令和５年度「家庭生活・家庭学習・３つのあ」についてのアンケート集計

1 「早寝」「早起き」「朝ご飯」について

① 学校のある日は、何時ごろに寝ていますか。



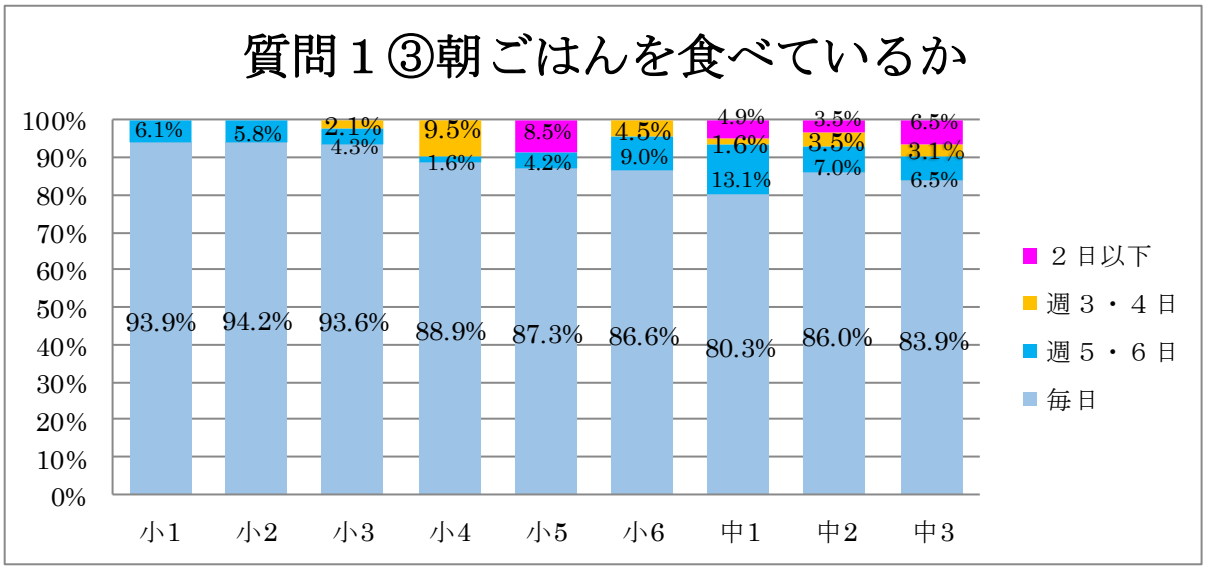

② 学校のある日は、「家庭生活・家庭学習のすすめ」で示した睡眠時間のめやす以上睡眠をとっていますか。




※ 各学年の睡眠のめやす

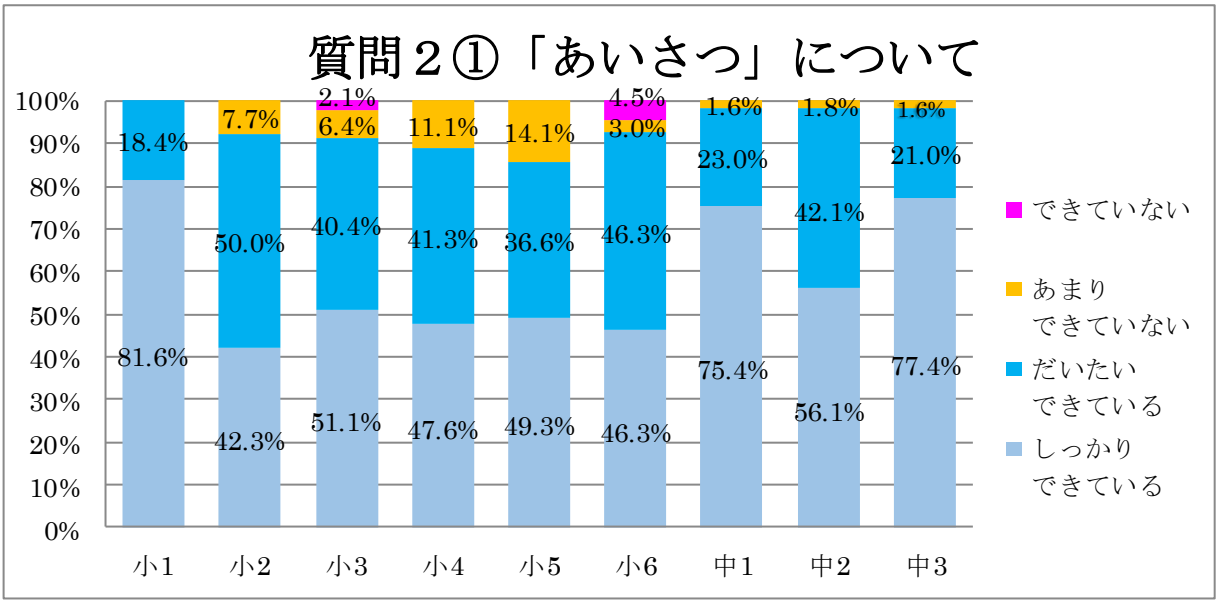
| 小１ | 小２ | 小３ | 小４ | 小５ | 小６ | 中１ | 中２ | 中３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ９時間 | | | | ８時間 | | ７時間３０分 | | |

③「朝ご飯」をしっかり食べていますか。

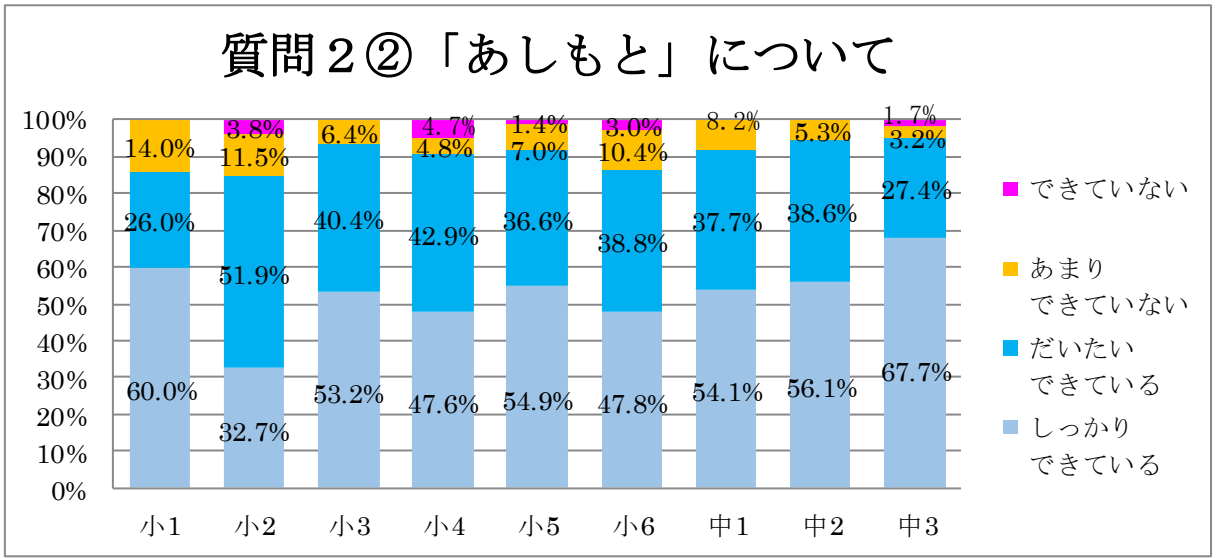



2　「３つのあ」について

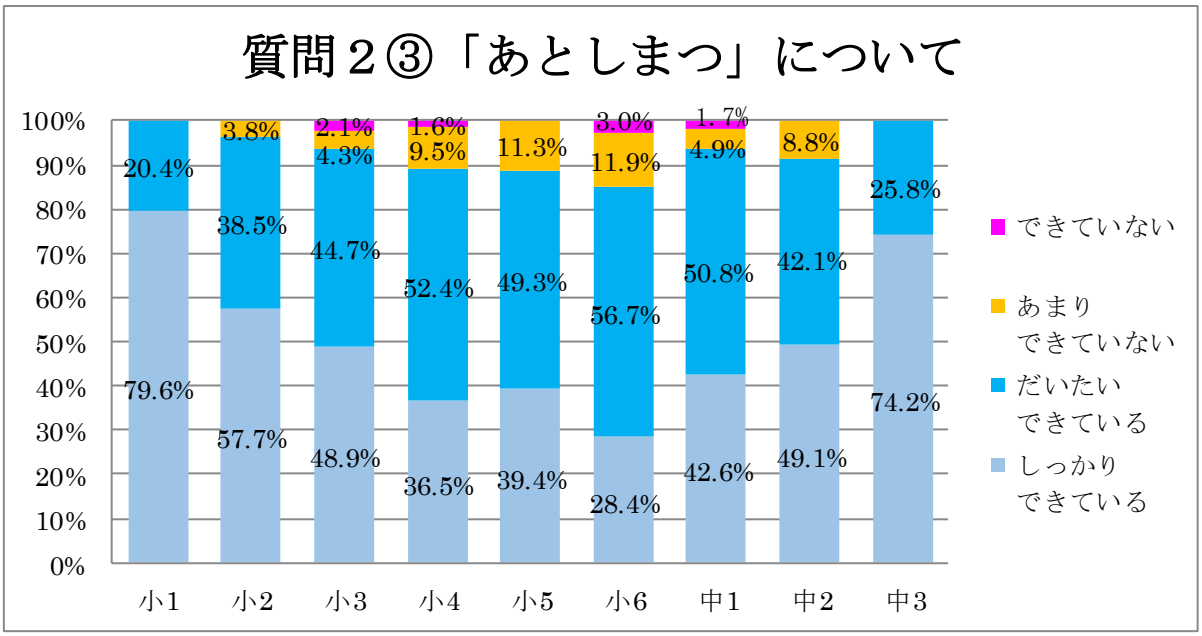
①【あいさつ】心をこめた「あいさつ」をし、友達と仲良く生活できていますか。




②【あしもと】はきものやロッカーの整理整頓をし、けじめある生活をしていますか。



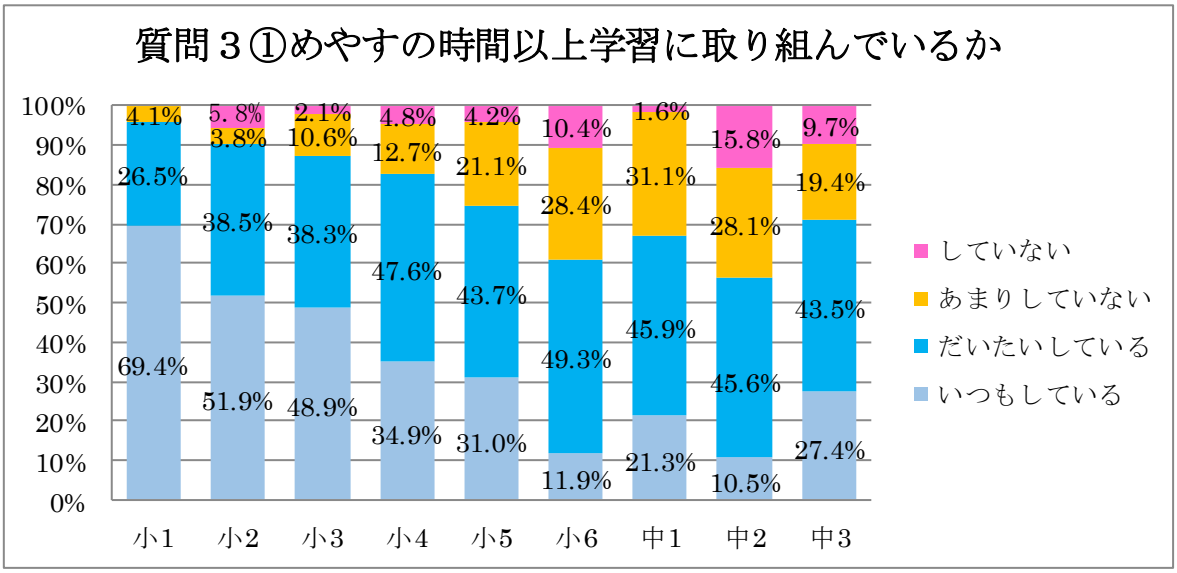
③【あとしまつ】何事も最後までやりとげ、責任もった行動をしていますか。




3 家で、毎日の勉強について

①「家庭生活・家庭学習のすすめ」で示した学習のめやす以上学習に取り組んでいますか。

※ 宿題・塾・習い事を含む

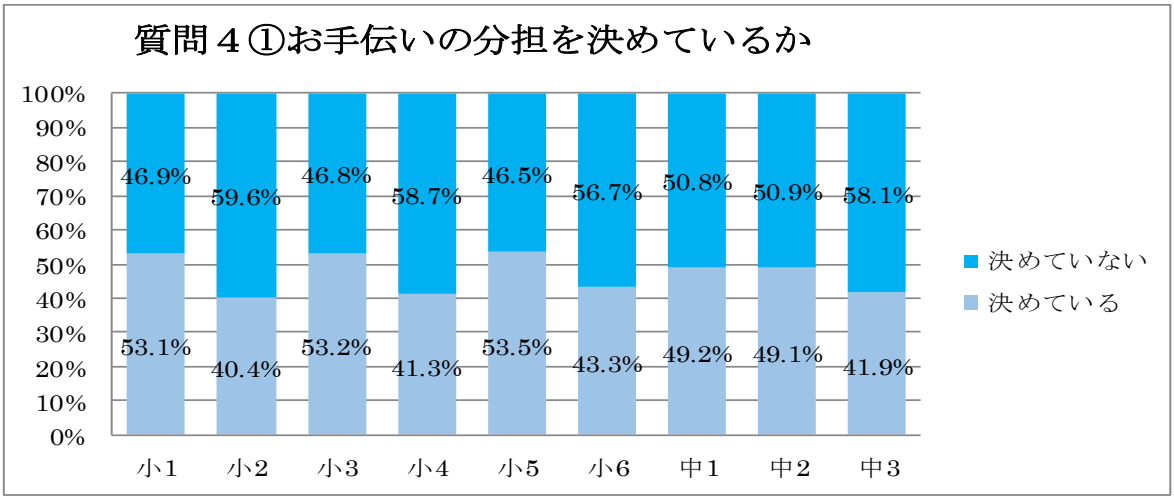



※ 各学年の学習のめやす

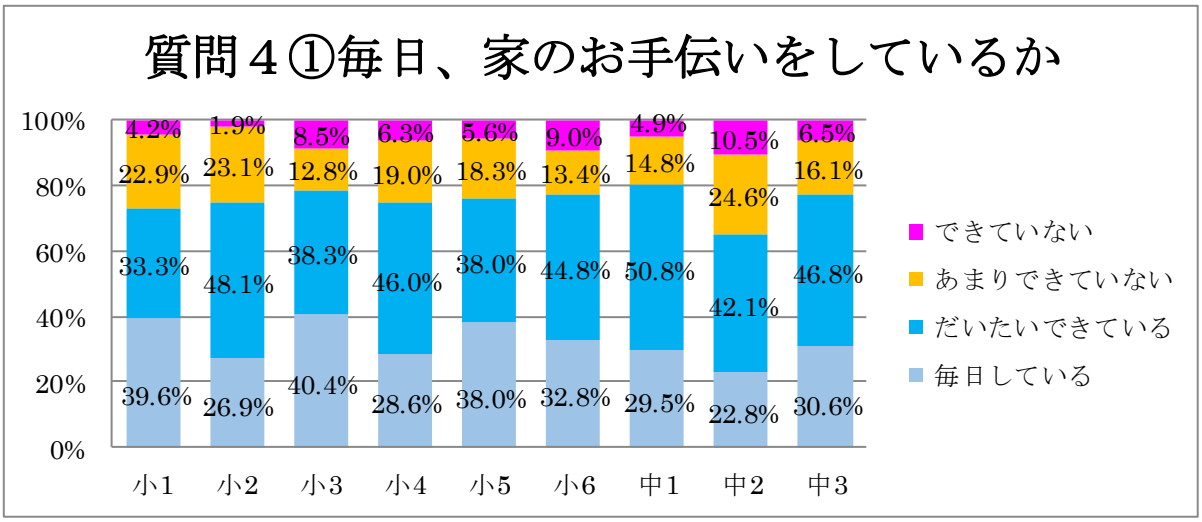
| 小１ | 小２ | 小３ | 小４ | 小５ | 小６ | 中１ | 中２ | 中３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １５分 | ２０分 | ３０分 | ４０分 | ５０分 | ６０分 | ６０分 | ９０分 | １２０分 |

## 4 家のお手伝いについて

① 自分のお手伝いの分担を決めていますか。

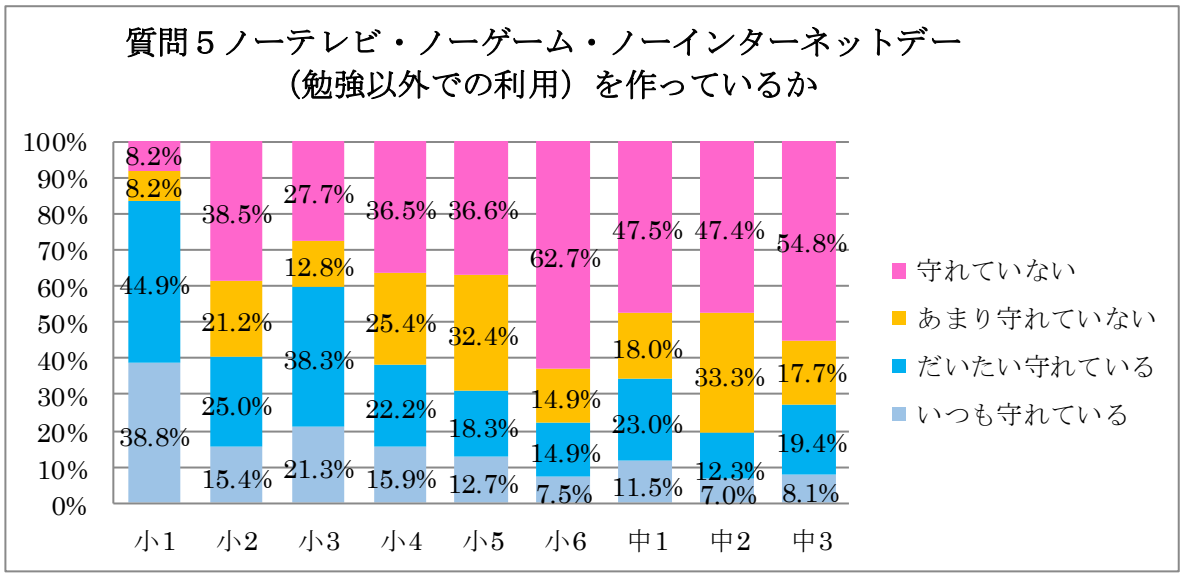



② 毎日、家のお手伝いをしていますか。




## 5 ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネットについて

① 週に１回、ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネットデーを作り、守っていますか。
（スマホやタブレットＰＣなどで動画を見る時間も含みます。）



令和６年度越生町教育委員会事務局
点検評価報告書
［対象：令和５年度の教育行政施策対象］

令和６年８月
編集・発行
越生町教育委員会
埼玉県入間郡越生町大字越生 917 番地
電話　０４９－２９２－３１２１（代）
Ｅメール　kyouiku1@town.ogose.saitama.jp